

菜の花(キザキ菜種)の生育状況

本日、岩沼洋菜組合組合員の佐藤武直夫様の東側農場と西側農場を視察し、菜種の生育状況を確認してまいりました。春先に肥料を散布したことも有り生育は他の農場と比較し頗る順調に生育されていることが確認できました。特に、4月末に摘み取った菜の花は茎の部分が分散し細身で生育されておりますが、摘み取りをしていない菜の花は直径2センチほどの大きさとなり、背丈も長いので有れば180cm程の高さになっておりました。

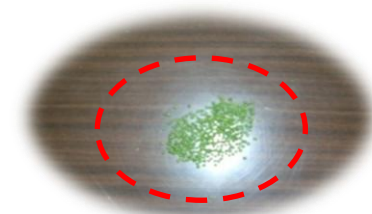


※佐藤武直夫農場(6月12日撮影)

- 160センチの長さに成長した総重量は約300g
- ・ 側枝大1本の重量は約60g
- ・ 側枝中1本の重量は約30g
- ・ 側枝小1本の重量は約10g



a) 160cm程の長さの枝の合計本数は11本



b) 穀付部分の重量は260g

※実の部分は穀付き重量の約10%の26gとなっております。

・ 今回の実験結果で判明した事は1㎡当り10本程植えられていると仮定すると菜種の収穫量は約200gとなります。

$$(1\text{m}^2 \quad 10\text{本} \times 20\text{g} \quad (1\text{本当り}) = 200\text{g})$$

・ 1反(1000㎡)当たりの収穫量は200g×1000㎡で約200kgの菜種を収穫可能であります。但し、乾燥した状態では多少の誤差が生じます。

・ 実験農場(岩沼市、名取市)の合計は91アールの為、菜種の収穫量は1820kgとなる見込みであります。